

2021 年度 NACCS 協議会（旧地区協議会）議事概要

- I 開催期間：2022 年 1 月 25 日(火)から 2 月 17 日(木)まで
 - II 出席委員等：委員及び当社からの参加者の会社名・所属については、後掲に記載。
※協議会参加者の氏名は非公開
 - III 議事概要
 - 第 1 部は「2021 年度 NACCS 協議会（旧地区協議会）」（資料）に基づき、当社からの説明及び質疑応答を実施した。
 - 第 2 部の意見交換内容については発言概要を記載する。
- (2021 年度 NACCS 協議会（旧地区協議会） 議事次第)
- 第 1 部 NACCS センターからのお知らせ
 - (1) 請求書の郵送廃止に関するお知らせ
 - (2) 第 7 次 NACCS に関する内容
 - (3) 2021 年度 プログラム変更内容に関するお知らせ/リリース済の変更案件
 - (4) Windows8.1 及び Internet Explorer11 のサポート終了に関するお知らせ
 - 第 2 部 NACCS を有効活用するための取り組みについて（意見交換）
 - (1) 虎の巻マスターシリーズについて
 - (2) チャットボットによるお問合せ対応
 - (3) C F S の引取関連業務について

IV 主な質疑内容等

当社からの説明事項等に関する主な質疑の内容は次のとおり。

第1部 NACCS センターからのお知らせ

(1) 請求書の郵送廃止に関するお知らせ

(委員) NACCS センターから請求が出たという通知メールは来るのか、自分で NSS にログインして調べるのか。

(当社) 毎月の請求書については、第3営業日に一斉にメールしているため、ご確認をお願いします。

(2) 第7次 NACCS に関する内容

(委員) 「基本仕様書」の「IV 最新技術の導入・各種デジタルプラットフォーム（貿易情報基盤）との連携」について、進捗状況如何。

(当社) 今後、第7次ワーキンググループ（WG）において取り扱っていく予定です。

(3) 2021年度 プログラム変更内容に関するお知らせ/リリース済の変更案件

(委員) 項目1「受信電文の PDF 形式での自動保存可能化」について、三つ質問がある。

保存対象の帳票電文はどれか。

テキスト形式と PDF 形式の同時保存も可能か。

保存先の設定方法は現在の方法から変更はあるのか。

(当社) 一点目のご質問については、すべての帳票電文が保存可能となっており、どの電文を保存したいかは、ご利用者様のご判断で選択することが可能です。

二点目のご質問については、テキスト形式と PDF 形式の同時保存は可能です。

三点目のご質問については、保存先の設定方法は現行のテキスト形式での自動保存と同様にどこに保存するかを設定する画面から設定が可能です。

(委員) 項目1「受信電文の PDF 形式での自動保存可能化」については、管理資料（CSV 形式）も対象か。

(当社) 管理資料（CSV 形式）については対象外です。主に、「許可」や「承認」関係の帳票などが PDF 自動保存可能となります。

(委員) 項目1「受信電文の PDF 形式での自動保存可能化」について、自動保存のファイル名は、「業務固有情報」である「申告番号」も指定が可能か。

(当社) 申告関係の帳票については、ファイル名として自動抽出できる「サブジェクト」という項目に、基本的に申告番号が含まれているため、申告番号をファイル名に付与することが可能です。ただし、帳票ごとに「サブジェクト」に含まれる情報が異なるため、詳細は EDI 仕様書の付録 6-8 をご参照ください。

(委員) 項目9「航空貨物の特定委託輸出申告の仕様変更」について、変更後の仕様として記載されている「特定委託用のバスケットの保税地域コード」は申告貨物の通関予定蔵置場コードを入力すれば良いのか。

(当社) ご認識の通り、「搬入予定保税蔵置場」欄にバスケットの保税地域コードを入れることで、輸出申告（EDA-EDC）が可能です。

(委員) 輸出申告事項登録（EDA）の際に入力する通関予定蔵置場コードには、資料にあるとおり輸出貨物情報登録（CDB01）業務で入力されたバスケット保税地域コードを使用して、搬出（EXA）業務の時には最終的に搬入する予定のエアライン（航空上屋の保税蔵置場）のコードを入力するという理解でよいか。

(当社) ご認識の通り。輸出申告（EDA-EDC）時に蔵置官署毎のバスケットの保税地域コードを入力いただき、搬出（EXA）業務の際は、「搬出先」欄にエアラインの保税地域コードを入力することになります。

(補足) 特定委託輸出申告において入力するバスケット保税地域コードは、自社施設における特定輸出申告の場合の自社施設用保税地域コードの代わりに入力するものとなります。

CDB01 業務では、特定委託輸出申告貨物が輸出申告時に貨物が置かれている自社施設等の所在地を管轄する税関官署に紐づいたバスケットコードを入力願います。

なお、既に運送中の貨物についても同様に、自社施設等の所在地を管轄する税関官署に紐づいたバスケットコードを入力願います。

また、EDA 業務に入力する通関予定蔵置場欄についても同様となります。

(委員) 項目10「申告添付登録（MSX）/申告添付訂正（MSY01）業務の削除ファイル容量の増加について」に関連し、第7次 NACCS 更改において添付ファイルの容量増加対応となっているが、時期の前倒しを検討願いたい。

(当社) NACCS のハード及びネットワーク環境の増設等が必要となり、第7次に向けて取組んでいるとこ

ろです。

(委員)項目 10「申告添付登録 (MSX) / 申告添付訂正 (MSY01) 業務の削除ファイル容量の増加について」に併せて、情報保存期間の延長を検討願いたい。

(当社)お手数ですが、業界団体を通じプログラム変更の要望をお願いします。

(委員)項目 11「宛先管理機能の強化」について、7 次 NACGS ではメール処理方式廃止ということだが、もともと GW 配下の端末はメール処理方式しか受け付なかったということで、現在メール処理方式の端末を保持している。7 次 NACGS では、インタラクティブ方式に乗り換える必要があるという理解でよろしいか。

また、UOM 業務が 9 月にリリースしたということは、現在も GW 配下の端末はメール処理方式で使用可能ということか。

(当社)7 次 NACGS では、自社システムでのメール処理方式は廃止されないが、メール処理方式のパッケージソフトは廃止となります。昨年 9 月から、UOM 業務で設定することでメール処理方式での送信結果がインタラクティブ処理方式でも受信できるようになっています。

(委員)今、メール処理方式のパッケージソフトを使っているが、7 次 NACGS ではどのように対応すればよいか。インタラクティブ処理方式しか使用できないか。

(当社)パッケージソフトを使用する場合は、インタラクティブ処理方式でご使用いただく必要があります。

(委員)UOM 業務というのは、7 次 NACGS までのものなのか。

(当社)UOM 業務は昨年 9 月に改修済みで、この先もご利用いただけます。

(委員)GW 配下でメール処理方式のユーザーは、インタラクティブ処理方式にして、UOM 業務で設定をしなければいけないということか。

(当社)メール処理方式のパッケージソフトは、7 次 NACGS ではご使用できなくなりますので、過渡期の対応として、UOM 業務で設定することで、メール処理方式のパッケージソフトで実施した業務実施結果を、インタラクティブ処理方式のパッケージソフトで受信できるようになっております。

(補足)7 次 NACGS でも引き続きメール処理方式をご利用いただく事は可能ですが、GW 配下 PC で利用できる送信電文作成機能、帳票出力機能等を開発いただく必要があります。

帳票出力機能等の開発を行わず、メール処理方式から業務送信を行う場合の対応として、「宛先管理機能の強化」を実施しております。

7 次 NACGS にて GW 配下 PC で利用できる送信電文作成機能、帳票出力機能等の開発を行わない場合は、インタラクティブ処理方式でご使用いただく必要があります。

帳票出力機能等の開発有無によって、インタラクティブ処理方式への変更を行うかの判断をお願いいたします。

(委員)項目 12「包括保険及び口座の法人番号対応」について、法人番号だけでは、自社システムのある利用者は対応できるが、そうでない通関業者は手入力が発生し、業務が煩雑になる場合がある。是非とも救済措置を検討願いたい。

また、RCEP の業務等において、一定期間保存したい。

(当社)法人番号については国税庁のデータを引用しており、現状は英文が反映されていません。お手数ですが、業界団体を通じプログラム変更の要望をお願いします。

(委員)リリース日である 2022 年 3 月 20 日のスケジュールについて確認したい。

第 6 次 NACGS 中年度更改日は 2021 年 9 月 19 日で、実際のメンテナンス日時は 9 月 18 日の 23 時 15 分から翌日 19 日の 5 時であった。その際我々は 23 時以降も業務を行っていたため、リリース時間を少し遅らせるといった対応は可能か。

(当社)3 月の定期メンテナンスを 3 月 20 日の 2 時半から 5 時までで行う予定であり、今回のリリースはそのメンテナンス中に行う予定であるため、リリース時間の変更を検討する予定はありません。

(4) Windows8.1 及び Internet Explorer11 のサポート終了に関するお知らせ
特段質疑応答無し

第2部 NACCS を有効活用するための取り組みについて（意見交換）

(1) 虎の巻マスターシリーズについて

(1月25日開催分)

(委員) 特に、第一弾のバンニングマスターを社内でも有効に活用している。例えば、ECR 業務やバンニング情報登録を担当する別の部署から、登録の訂正や変更等が必要になった際、都度「どうしたら良いか」といった質問を社内でも受けていた。

公開されたバンニングマスターにはどのタイミングで、誰が訂正できるかといった内容が明確に記載されていた。お陰で、バンニングマスターの資料を利用して担当部署に説明できるようになり、更にその問合せ自体も減少し、社内の問合せの削減につながった。

(当社) 頂いたご意見の通り、バンニングマスターでは、誰が、どのタイミングで、どの様に訂正できるのかといった内容を分かり易く表にまとめたものになっているので、是非委員の皆様には社内外のバンニング業務をされる方、業務を担当する部署にご紹介いただければと思います。

(委員) CHJ 情報仕分けと改装仕分けについて、どちらを使用したら良いかといった質問が社内であった際に、海上仕分けマスターを紹介したことがある。

(当社) ご意見ありがとうございます。是非、引き続き社内でも同様のお困り事を抱えている方には、本コンテンツをご紹介ください。

(1月26日開催分)

(委員) 知ってはいるが、あまり使っていない。

よほどでない限り見ることなく NACCS 業務を行っている。

(当社) 新人の方が入られた際は、『虎の巻マスターシリーズ』をご活用下さい。

(委員) 『虎の巻マスターシリーズ』は知らなかった。丁寧に説明されているので、新人教育に使いたいと思う。業務を把握していない社員に対し、今までは業務画面を渡していたが、『虎の巻マスターシリーズ』であれば、勉強してみても言えるので活用したい。

(当社) 『虎の巻マスターシリーズ』を活用されている方のご意見として、業務の訂正方法を社内でも毎回聞かれていたが、『虎の巻マスターシリーズ』を勧めたところ、聞かれることがなくなった、という声もありました。活用いただくことで、教育に割く時間を減らすことができます。

我々も非常に時間を掛けて、分かりやすく見てもらえるかを重点として作りましたので、ご自身で使用されなくとも、広く周知いただけると大変うれしく思います。

(1月27日開催分)

(委員) バンニングマスターは利用したことがある。その他については、まだ社内周知しきれていないので、虎の巻から FAQ を使って解決できるように今後周知したいと思う。

(当社) すでにバンニングマスターは利用していただいているとのこと、ありがとうございます。

バンニングマスターは、バンニングに関する仕様が詳細に掲載されているものですので、今後も引き続きバンニングマスター、現在公開されている FAINS マスター・海上仕分けマスターについてもご利用と社内展開をよろしくお願いいたします。

(委員) 虎の巻マスターシリーズがあるということは知っていたが、社内のマニュアルを重視して対応している部分が強く、社内でも虎の巻マスターシリーズを使用しているという声が聞こえてこなかった実状。

しかし、とても分かりやすい構成になっていると感じたので、今後新入社員や異動者に向けて社内マニュアルと合わせてこちらの資料も使用するように勧めたい。

(当社) ご意見ありがとうございます。すでに社内でもマニュアルを共有されているため虎の巻マスターシリーズをご利用されていなかったとのことですが、アンケート調査を実施しましたところ、新入社員への社内教育資料として展開されている会社様が多く、そのようにご利用いただくことはもちろん、ある程度実務経験のある社員の方への業務用資料としてもご利用いただける内容となっておりますので、社内展開の程よろしくお願いいたします。

(委員) 虎の巻マスターシリーズやチャットボットの存在を社員のほとんどが知っており、知らない方が少ないと思う。実際には約 2~3 割の社員が使用しており、輸出担当者がよく使っていると把握している。中でもバンニングマスターが一番よく使っている。

虎の巻マスターシリーズとチャットボットは、NACCS センターが配信している NACCS 協議会通信を社員に共有しているのでそこから存在を知った社員が多かったようだ。

(当社) ありがとうございます。既に 2~3 割の社員の方に使用していただいているとのことでしたが、実際にバンニングマスターを使用して問題は解決できていますか。

(委員) 解決しているようだ。自分の近くの席にいた社員が、バンニングマスターを開きながら業務を

- 行っているのを見たことがある。
- (当社) ありがとうございます。以前、NACCS 協議会通信でもご案内しておりますが、業務の流れだけでなく、よくある問合せもまとめておりますので今後エラーなどが出て困った際などにご活用下さい。また、社内展開も積極的に行っていただけますと幸いです。
- NACCS 協議会通信をご覧になっているとのこと、誠にありがとうございます。定期的に配信しているものですが、より良い情報を弊社から皆様にご提供したいと考えております。

(2月3日開催分)

※質疑応答の他、挙手によるアンケートを実施。

- (委員) 虎の巻マスターシリーズは完成度が高く、研修資料としても非常に有効なものであると思う。若手社員の教育にも使っている。今後、他法令に関わる植物検疫、動物検疫に係るシリーズも希望する。また、新たに追加された「仕分けマスター」も日常よく使う業務の為、非常にありがたいと思う。
- (当社) ご意見ありがとうございます。植物検疫、動物検疫につきましては協議会終了後、本社に申し伝えます。具体的に虎の巻マスターシリーズを普段どのようにご利用されているか、ご教示願います。
- (委員) 個々人で掲示板を確認というより、管理職、リーダークラスの者が業務に必要なことをピックアップして全体に展開し、情報共有している。
- (当社) ありがとうございます。新しいコンテンツができれば、NACCS 通信等でご案内いたします。また協議会終了後に、ぜひ虎の巻マスターシリーズをご確認いただき、皆様の業務にご活用ください。

(2月9日開催分)

※質疑応答の他、会議内でアンケートを実施。

- (委員) 虎の巻シリーズと通関業会経由で受信している九州事務所独自の「九州事務所通信」を社内にも共有しており、大変、役に立っている。今後も継続的にいろいろな業務に展開していただきたい。
- (当社) ご活用いただきありがとうございます。今後も委員の皆様からの声をお聞かせいただき、皆様のお役に立つコンテンツを提供していきたいと思います。

(2月16日、17日開催分)

- (委員) 社内教育にも活用できるとの説明を聞き、今後は取り入れたい。社内を確認したところ、食品関係 (FAINS マスター) やバンニング (バンニングマスター) で利用しているとのことだった。虎の巻マスターシリーズは資料が凝縮されており、これだけで事足りている。
- (当社) ご意見ありがとうございます。社内教育する立場の方の資料として、ご利用頂いているとのことをお声を頂戴しています。今後も、資料に関しご要望があれば弊社までご連絡ください。

(2) チャットボットによるお問合せ対応

(1月25日開催分)

- (当社) IDA エラー、もしくは申込サポートのチャットボットをご利用したことはございますか
- (委員) まだ利用していない。利用する機会が無かった。また、日々の業務で NACCS 掲示板を利用している訳でもないの、コンテンツについては気付かなかった。
- (当社) ご意見ありがとうございます。現在のコンテンツでご利用する場面が無かったとのことですが、今後本コンテンツの拡充 (別業務エラーの追加等) を図るにあたり、皆様の利用具合 (コンテンツへのアクセス数) が拡充の是非に影響します。その為、もし本コンテンツを利用する様な機会がありましたら、是非ご利用ください。
- (委員) まだ社内にも本コンテンツを知らない者もいると思うので、この機会に是非、社内展開していきたい。
- (委員) 本コンテンツを知っていたが、実務で関連するエラーが発生せず、利用する機会が無かったことから、使用したことはない。
- (当社) ご意見ありがとうございます。今後もし本コンテンツを利用するような機会がありましたら、是非ご利用ください。
- (委員) これまでは、ヘルプデスクへ、電話での問い合わせをしていた。コンテンツの様々な展開の見込みがあるという事なので、今後社内でも更に活用していきたいと思う。
- (当社) ご意見ありがとうございます。コンテンツの拡充については、現時点では未定でございます。今後本コンテンツの拡充には、皆様の更なるご利用 (コンテンツへのアクセス数等増加) が必要で

す。もし本コンテンツを利用する様な機会がありましたら、是非ご利用ください。

(1月26日開催分)

- (委員) 情報システム部門であり、人間は限られるが、NACCS センターに問合せすることがあった。今まで電話で問合せしていたが、試しにチャットボットを使ったことがある。実務担当者は、このチャットボットを知らないと思う。実務担当者にこうしたチャットボットがあり、自身でエラーに対して解決の手立てを調べる方法があるということを周知したい。
- (当社) 試された際の使用感などお聞かせいただけますでしょうか。
- (委員) 使った回数も乏しく、使用感に具体的な意見はない。
- (当社) 使用後のアンケートにお答えいただければと思います。

- (委員) 弊社では使用していない。今日話を聞いて、共有したいと思う。
- (当社) 去年は、船積み関係のチャットボット入れないのかという質問がございました。チャットボットはお問合せが多いものから順次取り入れています。IDA 業務エラーチャットのあとは EDA 業務エラーチャットのリリースを予定しております。業務種類の拡大につきましては、皆様に使っていただいている、効果的であるということを確認しつつ進めていきます。まずは、皆様に使っていただくことが大事です。ご存知なかった方には、社内でご周知いただき、改善点をお知らせいただけたらと思います。

(1月27日開催分)

- (当社) IDA エラー、もしくは申込サポートのチャットボットをご利用したことはございますか。
- (委員) 掲示板にチャットボットがあることは知っていたが、実際に使用したことはない。ヘルプデスクへの問合せが主になっている。
- (当社) ご意見ありがとうございます。先ほどご紹介した IDA エラーチャットボットについてですが、赤字部分には、パッケージソフトにエラーコードが出た際の処置部分に表示される内容と同じものが表示されます。黒字部分は、ヘルプデスクにお問合せいただいた際にヘルプデスクが回答する内容と同じ内容ですので、お電話口で待たされることのないチャットボットをぜひご利用ください。
- また、チャットボットはフリーワード検索には対応していないため、エラーコードを入力していただくという注意点をこの機会にご認識いただけますと幸いです。

- (委員) ホームページ上にあることは知っていたが、使用せずにヘルプデスクに問い合わせることが多かった。今後は、チャットボットを活用したい。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボットの回答は、ヘルプデスクの回答と同じものが表示されますので、今後はお電話口で待たされることのないチャットボットをご利用いただけますと幸いです。

- (委員) 社内のチャットボットの知名度は、虎の巻マスターシリーズと同じくらいだ。しかし、使用したことのある社員は、虎の巻マスターシリーズに比べるとかなり少ないと把握している。自分は IDA エラーチャットボットを使用した際に分かりやすいと感じたが、チャットボットを使っても最終的にヘルプデスクに問い合わせる社員もいた。エラーコードの内容が理解しやすいという点では、チャットボットは良い機能だと思う。
- (当社) ご意見ありがとうございます。利用率は少ないとのことでしたが、今の IDA エラーチャットボットの説明を受けて今後チャットボットを利用したいと感じていただけましたか。
- (委員) 自分は、実務を担当していないので IDA エラーチャットボットは実務を担当している社員に周知するようにしている。ある程度経験のある社員は、チャットボットで不明点を解決しているようだ。申込に関しては、自分も担当している業務なので申込サポートチャットボットを今後活用したいと考えている。
- (当社) 実務を担当していらっしゃらないとのこと、大変失礼いたしました。便利な機能ですので、是非、社内展開していただきたいと思います。

(2月3日開催分)

- ※質疑応答の他、挙手によるアンケートを実施。
- (委員) 現在 IDA (及び NSS) に限られている為、使用頻度は限定的。他の業務への展開を期待する。書類作成において不明点がある場合は緊急のケースがほとんどの為、電話にて確認、解決に至っている。
- (当社) ご意見ありがとうございます。実際ご利用されていますか
- (委員) 現場で試みたことはある。しかしダイレクトに回答を得るまでに時間がかかった。お客様の申告書作成に時間を追われることもあり、結果的に電話している。
- (当社) まずはチャットボットでエラーコードを検索していただき、ご回答に導ければと思っています。

エラー内容によっては、対処方法のみならず、関連する URL なども併せてご案内していますので、ぜひご利用ください。

その他コメントで、「他の業務への展開も希望」と頂きましたが、具体的にどのような業務か教えていただけますでしょうか。

(委員)特に具体的なところはヒアリング出来ていない為、回答できない。

今後チャットボットの進化系で AI で会話が出来るような事は考えているか。

(当社)ご質問ありがとうございます。現状チャットボットの利用率が低いこともあり、まずは皆様にたくさんご利用頂くことを目的としております。利用率が上がれば、検討課題にも繋がるかと思えます。

(委員)利用しやすいように、フリーワードに対応するという事は今後ないのか。

(当社)現在各地で行われている協議会でも、フリーワードでの検索はよく頂くご意見です。当該事案につき、今後の課題としていきたいと思えます。

(当社)「NSS で利用したことがある」とコメントいただきましたが、具体的にどのような場面で使われましたか。

(委員)NSS で端末の入れ替えで分からないことがあった時に、利用してみた。昨年度の協議会で案内があってから、気にしてみるようにしている。ただ例えば「パスワードを忘れた」との問いに対し、質問が 4~5 つしかないのも、もう少し充実してくると更に使い易い。IDA に関しては、スピード重視のこともあり電話で解決している為、利用していない。NSS では特に急ぐことはない為、今後はこちらを利用したい。

(当社)ご意見ありがとうございます。チャットボットは多くの方々にご利用いただければ、機能拡充も可能になりますので、是非ご利用いただければと思えます。今後チャットボットをご利用頂いて、使いづらい、分からないといった点がございましたら、東海事務所までご連絡ください。ご意見等まとめて、今後のより良いサービス提供が出来る様にして参ります。

(2月9日開催分)

※質疑応答の他、会議内でアンケートを実施。

(委員)チャットボットの存在は知っていたが、通関は急いでいることが多いので、電話で問い合わせることが多い。

また、最近、エラーが少なくなっているのも、あまり利用しない一因かと思う。

今後、機会があれば、利用していきたいと思う。

(当社)是非、チャットボットをご利用いただき、使える、使えない等の使用感をお聞かせいただきたいと思えます

(委員)存在は知ってはいたが、エラーコードに表示される対処方法で、十分対応ができていたので、それ以上、調べたりする機会がなかった。社内に十分認知されていないことも一因かと思う。

(当社)業務に精通されている方はエラーコードに表示される対処法で対応できているようですね。社内の業務経験の浅い方にご紹介いただき、解決のツールの 1 つとしてご利用いただきたいと思えます。

(2月16日、17日開催分)

※質疑応答の他、会議内でアンケートを実施。

(委員)初心向けには良いと思う。

NACCS で分からない場合は社内で確認している。

NACCS で困った場合、一般検索サイトで検索すれば、直接 NACCS 掲示板の解決ページが開くため、NACCS 掲示板のトップページを見る機会がなかった。

チャットボットは協議会資料で初めて知ったが、今の配置位置(画面右下)では目立たないのではないかと。また、掲示板ではなく、NACCS に配置した方が効果はあると思う。

IDA・EDA 以外にも ACL・IFA 等の食品届に対応していただければ、利便性が向上する。

(当社)ご意見ありがとうございます。

以前、利用者様の中で、一般検索サイトではなかなか辿り着けない方もおられた、とのことで、チャットボットを掲示板に設けさせていただいています。

また、NACCS への配置についてはコスト的な問題もあり、現在は掲示板での配置とさせて頂いております。

今後も皆様のご利用状況を鑑みながら、検索エンジンの向上を図っていきたいと思えます。

(3) CFS の引取関連業務について

(1月25日開催分)

(当社)様々な導入メリットをご紹介しましたが、倉庫業の皆様では、導入ご検討の余地はあるでしょうか。

- (委員)現時点では CFS 業務をあまり実施していない。説明内容でメリットがあることは理解した。CFS 業務の話が社内ですぐに出た際には本業務を紹介したいと思う。
- (当社)ご意見ありがとうございます。本業務は CFS でなければご利用できないというのではなく、B/L 番号単位になってしまいますが CFS 以外の輸入貨物の引取業務にも利用可能となっています。
- (委員)担当の者と相談して、利用できるか検討する。
- (当社)ご検討内容にて不明な点、説明が欲しい等ございましたら、是非弊社までご連絡ください。対応いたします。
- (委員)弊社では CFS 業務を行っている。説明のあったように FAX 利用や電話確認等、昔ながらのやり方を通していた。今回の説明を聞いて是非導入したいと考えている。
- (当社)導入のご検討、ありがとうございます。導入の際にご不明な点やお困り事がありましたら、是非弊社までご連絡ください。サポートいたします。
- (委員)本業務を導入している倉庫が少ないように感じている。その為、利用できていない。メリットがあると感じているので、導入倉庫が広がれば、引取側の利用も増えてくると思う。
- (当社)ご意見ありがとうございます。もし、倉庫様で導入していた場合には、利用してみたいと思っていただけたということでしょうか。
- (委員)勿論、利用してみたいと思う。
- (当社)ありがとうございます。倉庫側の皆様には、利用してみたいとの引取者側のお声もありましたので、是非導入のご検討をいただければと思います。
- (当社)海貨業の引取者側としては、本業務を使用したことはありますか。
- (委員)使用したことはない。導入している倉庫があれば、今後使ってみたいと思う。弊社内にも展開したい。
- また、本業務の資料に関する意見として、NACCS 掲示板の本業務に関する掲載ページを確認したところ、CFS 貨物引取業務対応可能 CFS 一覧には、導入されている倉庫の利用者コードのみ掲載されていた。どこの住所で、会社名が何という倉庫かといった情報がなく、不便に思う。どこの会社か分かればなお親切ではないか。
- (当社)ご意見ありがとうございます。ご意見を参考にし、資料の拡充を検討致します。
- (当社)引取者側の皆様には、もし本業務を利用してみたいとお考えいただいていたいましたら、未導入の倉庫様に本業務を利用したいとお声掛けいただければと思います。

(1月26日開催分)

- (当社)本業務に関する説明を聞いて、ご感想をいただけますでしょうか。
- (委員)弊社倉庫では CFS 貨物を取り扱っておらず、本業務は使用していない。
- (当社)引き取りの対応は FAX でしょうか。
- (委員)荷主さんからの FAX かメールである。
- (当社)本業務についてご意見をお聞かせください。
- (委員)弊社も本業務を使用したことがない。依頼に関しては、輸入者様より基本的にメールで受けている。
- (当社)本業務についてご意見をお聞かせください。
- (委員)弊社は CFS から貨物を引き取る立場である。本業務には期待している。事例にあったように、現在 FAX 予約がメイン。相手に FAX が届いているか電話するが、電話しても「送ったなら届いていると思う」と切られることもある。本当に届いているのか分からない状態で、業務を行っている。このような負担が軽減されるだけでも、非常に有効であると思う。本業務を導入する CFS が増えると良いと思う。
- (当社)是非、導入いただければと思います。本業務を使用される CFS が増えていくと、引取者の皆様に広く使われるようになると思います。
- (委員)CY から搬出する際の RSS01 業務に近いと思う。予約する手間も省け、確実性も増え、良いと思う。
- (当社)貨物を引き取る依頼を行う立場である通関業者のご意見を伺えたらと思います。CFS に対して貨物引き取りの申込を普段行っていますでしょうか。
- (委員)貨物引き取り依頼は頻度が高い割合で行っている。CFS によって、引き取り（搬出）依頼のフォームが異なっているため、本業務が使えるようになれば、手法が統一されてやりやすくなると思う。一点、貨物が引取可能な状態かどうか分かる欄があると良い。

- (当社) 貨物が引取可能かどうかを、例えば ICG 業務で分かるように出来ればということで宜しいでしょうか。
- (委員) ICG 業務でなくても、本業務の中で、貨物の引取が可能な状態かどうかを確認できる欄があるといい。
- 実際 CFS へ行っても入金されていない、B/L が無い等の理由により、貨物が引き取れない場合があります。引取りが可能か否か、状況を確認できるとさらに便利だと思う。
- (当社) 貨物引取可能かどうかという情報はございませんが、本業務を導入された場合は RCT 業務で返答する、という取り決めを行えば、引取可能だという確約が取れるようになります。紙も削減でき、「FAX を送った」「届いていない」というトラブルもなくなります。
- 我々としても宣伝が足りていないと思っております。引取者である通関業者の方には、お付き合いのある倉庫様に利用促進いただけると本当に助かります。

- (当社) 他の引取者の方で、ご感想をお聞かせいただけますでしょうか。
- (委員) こちらは税関対応や食品届出申請を行っている部署であり、意見が申し上げられない。CFS 部門に、今回の資料を共有して相談しようと思う。

- (当社) 貨物を引き取る依頼を行う通関業者様よりご意見や要望が出ておりますが、この点について(倉庫側の立場から) ご感想をいただけますでしょうか。
- (委員) 弊社は過去に CFS だった。本業務を導入すると手違いがなくなるので、CFS 側としても有効だと思う。CFS 倉庫に、この業務のメリットをもっと伝えていけば、理解した上で導入を検討してくれると思う。今回 CFS を運用している会社が参加していないなら、今後幅広く情報を提供していければと思う。

- (委員) こちらは CFS 倉庫です。NVC01 業務で LCL 貨物などを登録し、デバン終了後、実物確認、NVC11 業務で訂正を行う。その場合は、(本業務には) 反映されるか。
- (当社) ご紹介した本業務は貨物の引取業務であり、NVC01 業務後、BIA 業務などで搬入されたあとの業務となります。
- (委員) 搬入後の話というのは分かる。引取業者が打ち込む内容は、NVC11 業務で訂正された情報を入れてもらえればいいが、アライバルノティスなどの情報をもとに、荷姿・マークの実貨物との相違に関して元々の情報で入力されてしまうと、違う貨物を引渡してしまう可能性が出てくる。BL 番号が入っていれば、当方でも確認できるが。
- また、D/O リリースについては、現在紙ベースで船会社から引き渡されている。引取者側から D/O リリースされ、倉庫側で確認する必要があるが、引取業者が NACCS を使用した一方的なやり方は疑問である。
- (当社) 今回、CFS 貨物引取業務について説明させていただきましたが、最初に倉庫でこの業務を導入していただく必要があります。導入された倉庫で、通関業者や引取業者にこの業務を使ってほしいという案内をしてもらうこととなります。取り決めなどは倉庫側で決めていただけます。CFS 貨物を取り扱っていない倉庫様もいらっしゃると思いますが、BL 単位ではありますが CFS 貨物以外についてもこの業務が使用できます。ご不明な点がございましたら、弊社にご連絡いただければと思います。

(1月27日開催分)

- (当社) 本業務をご利用いただいたことはございますか。
- (委員) 担当社員に確認したところ、CFS 倉庫から依頼されて数回行ったことがあると聞いた。業務は問題なく行えたが、実際に社内に導入するのはハードルが高いように感じた。弊社の NACCS を導入している部署は通関専門のため、搬出手配を行う部署は NACCS を導入していないという状況。そのため NACCS を導入していない部署で本業務を導入すると混乱が起きるのではないかと懸念している。
- (当社) ご意見ありがとうございます。RCS01 業務を使用して数回搬出依頼を行われたとのことですが、NACCS を導入していることが前提になりますので本業務を使用するには NACCS を導入していただく必要がございます。差し支えなければ本業務の使用感を教えていただけますか。
- (委員) システム的には、問題なく使用できたと把握している。
- (当社) NACCS を導入していることが前提となる本業務ですが、こちらの業務は従業料金が1件当たり A プランで 8 円、B プランで 10 円ですので、使用感にご満足していただけたらぜひ導入をご検討ください。
- (委員) 自分は使用したことがなく、社員が使用したことがあるか把握できていない。ただ説明を聞いたところ、現状は在宅勤務の際に FAX 送信のため出社する社員が必要だが、この業務を利用すると出社することなく在宅でも行うことができる点が非常に便利そうだと感じた。

(当社) ご意見ありがとうございます。FAX 送信の手間や確認電話の必要がなくなる点が大変便利な業務です。今回のご説明で導入のメリットは感じていただけましたか。

(委員) コロナ禍で在宅勤務を行う際に、FAX 送信のため出社する社員が必要なくなる点を考えると非常に有効であると感じた。

(当社) メリットの多い業務ですので社内に展開ください。現状では FAX を送信して搬出依頼を行い、電話確認をされていますか。

(委員) 把握している限りではそうだ。

(当社) 承知しました。倉庫側にも引取側にもメリットのある業務ですので、FAX を送信して搬出依頼を行っている倉庫様にも周知していただければ幸いです。

また、営業部署で搬出依頼を行っているとのことでしたら、営業部署にも NACCS パッケージソフトを導入することでそこから業務を行うことが可能になりますので、パッケージソフトの導入もご検討ください。

(当社) 沖縄の倉庫様に関しましては、本業務を導入していないと把握しておりますが、今回のご説明で本業務を利用してみたいと感じていただけましたか。

(委員) 沖縄では件数も少なく、FAX 送信と電話確認を行っているのが現状。本業務は便利そうだと感じた。

(当社) ご意見ありがとうございます。本業務は、倉庫様側が UCT 業務で設定をすることで利用できるようになる業務ですので、ぜひ倉庫様に対して本業務の周知を行っていただければ幸いです。

(当社) 本業務を導入していただいていると認識しておりますが、導入のメリットなどを差し支えなければ教えてください。

(委員) 担当者からは、本業務を導入してから手間が省けたと聞いている。しかし、システムのアップデートに追いつけていないのが現状。ヘルプデスクに問い合わせた際に、ホームページに掲載されている新しい業務などについて紹介してもらえたら助かる。また今後さらに NACCS 掲示板の利用者が増えるのではないかと感じた。

(当社) ご意見ありがとうございます。新しい機能とは、RGS01 業務に関する新しい情報という理解で間違いありませんか。

(委員) そのとおりだ。また、その他の業務でも問い合わせた際に、その業務に関する NACCS 掲示板の掲載場所まで教えてもらえるとより良い。その後不明点がある際、ヘルプデスクに問い合わせるのではなく、掲示板に掲載されているよくある問合せなどを見て自己解決につながると感じた。また、NACCS 掲示板の利用の促進やヘルプデスクへの問合せ削減につなげることができるのではないかと感じた。

(当社) 弊社の担当部署にも共有させていただきます。

(2月3日開催分)

※質疑応答の他、挙手によるアンケートを実施。

(委員) 名古屋港の慣習と思われるが、FAX で貨物の搬出依頼をする倉庫が多い為、NACCS での予約を利用していない、または予約不要の倉庫が多いのが実情。普及は CFS 倉庫次第かと思うが、導入率は何%くらいか。

(当社) 導入率のご提示できませんが、現在 14 の CFS 倉庫様にご利用頂いています。現状 FAX で搬出依頼をする倉庫が多いということで、以下 2 点につき、ご教示お願い致します。

① NACCS で搬出依頼ができることを知らないため、FAX で対応しているのでしょうか、それとも知ってはいますが、敢えて FAX で行っているのでしょうか。

② 予約不要の倉庫の割合、特徴など、ご存じでしたら教えてください。

(委員) ①につき、CFS 貨物の引き取りを NACCS で出来る事自体、我々も知らなかった。また CFS 倉庫の方からも、NACCS で対応してほしい旨も言われた事はない。

②について、詳細は分かりかねる。

(当社) ご意見ありがとうございます。本業務につきまして、通関業者と倉庫、それぞれ社内検討して頂きつつ、導入に関しては、東海事務所よりサポートさせていただきますので、ご検討の程、宜しくお願い致します。

(委員) 中部空港では利用していないが、参考までに引取者側、倉庫側で本業務に係る利用料金をご提示願いたい。

(当社) 倉庫で行う UCT 業務（輸入 CFS 引取予定情報受付時間登録）は¥0、引取者側、倉庫側で行うそれぞれの業務に関して従量料金で¥8 か ¥10 です。

(委員) 承知した。

(当社) 清水地区での実態をお聞きしたいのですがいかがでしょうか。

(委員) CFS 貨物の引き取りを NACCS で行うことができるのは知らなかった。貨物引き取りに関しては他

部署の為、詳細な回答は控える。
(当社)本業務お聞きになって、使えそうかどうか感覚的にはいかがでしょうか。
(委員)NACCSで出来るのであれば便利かと思う。使い勝手などは、実際利用してみてということもあるが、電話のやり取りがなくなるというメリットは理解した。
(当社)ありがとうございました。

(当社)四日市地区での実態をお聞きしたいのですがいかがでしょうか。
(委員)四日市も名古屋同様、FAXでの貨物引き取りをしている。本業務につき、可能な限り保税蔵置場に情報展開して、利用の促進をしていきたいと思う。
(当社)ありがとうございました。

(当社)本業務については海上輸入のみ対象となっておりますことを補足いたします。

(2月9日開催分)

※質疑応答の他、会議内でアンケートを実施。

(委員)取り扱いをしていない。
CY通関での引き取りオーダーはFAXで処理しており、問題はない。
(当社)ご意見、承知しました。CYではRSS01、航空ではRSVという同様の業務もありますので、電子化、働き方改革の一助として、ご利用をご検討頂ければと思います。

(委員)CFS貨物の取扱いはあるが、件数が少ない(15件/日)ので、FAXだけの運用で足りている。今後、利用を検討する可能性はあると思うので、本先に情報を共有していきたい。
(当社)地区で導入いただければ、統一された運用として、非常に効果的なものになります。そのような構想がありましたら、サポートをさせていただきますので、ご連絡ください。

(委員)倉庫側も引取側も利用が増えていくと有効であると思うが、倉庫側と引取側で固まっている現状の運用をどう改善していくかがポイントになる。
引取側はNACCS参加しているので、導入に関する問題はないと思う。
(当社)引取側からは導入に関しては問題がないのご意見、承知しました。
導入に際して、各地区の倉庫側に対して弊社からも働きかけをしていきたいと思っておりますので、今後ご要望など、皆様の声をお聞かせください。

(2月16日、17日開催分)

※質疑応答の他、会議内でアンケートを実施。

(委員)倉庫側は、オーダーの受付手法の統一、FAX受信や電話対応を可能な限り削減できる。
倉庫部門は「この業務を知らなかった」とのことであり、周知することが必要ではないか。なお、説明については、動画の方が具体的イメージをより掴むことができると思う。
受けた用紙をそのまま現場の「指図書」として活用しており、「ペーパーレス化にはならないのでは」との声があった。また、自社システムとの連携構築に係る費用対効果も足かせになるとの懸念がある。
作り込みは良いが、荷主側や海貨側の理解を得るのが難しい。
輸出が中心であり、現状の運用で不便さを感じてはいない。
(当社)ご意見ありがとうございます。周知が上手く出来ていないようですので、今後対応させていただきます。
また、倉庫側としては、荷主様等のNACCS利用者以外の方についても対応しなければならないということを理解しました。

(委員)引取側はメリットがある印象、業務の簡素化に繋がると思われる。
某倉庫はweb対応しているが、引取側入力項目は4点のみである。ただし、全社統一の仕様となれば、これくらい(NACCS業務)の入力項目が必要なかもしれない。
本業務を導入している、していない倉庫があり、統一願いたい。なお、導入済のところは、デバン作業が終わっていないと呼出し業務を利用できず、都度の確認が必要となっている。
(当社)ご意見ありがとうございます。倉庫側、引取側のどちらにおいても、自社システムとの連携等、確認すべき事項がある旨、理解しました。
大阪、神戸港とも導入されている倉庫様があり、その他の倉庫様においても導入に向けてご要望・ご相談がございましたら、関西事務所においても対応させていただきます。お問い合わせをお待ちしております。

(委員)許可前の貨物も対応しているのであれば、誤搬出防止機能はあるのか。また、最近は個人通関も多く、税関官署に設置されている窓口電子申告端末(キオスク端末)からも利用できるのか。

(当社)許可前の貨物に対しても入力が可能です。未許可搬出の防止対策は、事前のルール作りが必要と考えています。航空貨物でも同様の RSV 業務がありますが、民間でルールを決めていると伺っております。

キオスク端末は、主に税関への申告業務のために設置されているものと伺っています。当該端末では本業務には対応しておりません。

2021年度NACCS協議会（2022年1月25日）第1部参加者 会社名・所属

（順不同）

業種	会社名・所属
船会社	オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社
船会社	HMMジャパン株式会社
船舶代理店	芝浦通船株式会社
保税蔵置場	株式会社日新
保税蔵置場	国際空港上屋株式会社
保税蔵置場・通関	日本通運株式会社
CY	株式会社宇徳
CY	日本郵船株式会社東京コンテナ・ターミナル（ユニックスNCT）
CY	三井倉庫株式会社
通関	株式会社日成
通関	横浜倉庫株式会社
通関	互興運輸株式会社
通関	NAX JAPAN株式会社
通関	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
通関	西日本鉄道株式会社
通関	株式会社日立物流バンテックフォワーディング
NVOCC	郵船ロジスティクス株式会社
航空会社	株式会社ANA Cargo
航空会社	キャセイバシフィック航空
航空会社	日本貨物航空株式会社
航空会社	日本航空株式会社
航空会社	全日本空輸株式会社
航空会社	株式会社JALスカイ
航空会社	ANAエアポートサービス株式会社
混載	郵船ロジスティクス株式会社
混載	株式会社近鉄エクスプレス
機用品	株式会社ANAケータリングサービス
輸出入者	双日ロジスティクス株式会社
輸出入者	伊藤忠商事株式会社
関係団体	東京通関業会
関係団体	一般社団法人日本貿易会
関係省庁	農林水産省動物検疫所
関係省庁	国土交通省港湾局
税関	東京税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年1月25日）第2部参加者 会社名・所属

（順不同）

業種	会社名・所属
船会社	オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社
船会社	オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社
保税蔵置場	株式会社住友倉庫
保税蔵置場	株式会社日新
CY	日本郵船株式会社東京コンテナ・ターミナル（ユニエックスNCT）
CY	三井倉庫株式会社
通関	株式会社日成
通関	日本通運株式会社
通関	横浜倉庫株式会社
通関	互興運輸株式会社
通関	NAX JAPAN株式会社
通関	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
通関	西日本鉄道株式会社
海貨	岡本物流株式会社
NVOCC	郵船ロジスティクス株式会社
航空会社	キャセイパシフィック航空
航空会社	日本貨物航空株式会社
航空会社	株式会社ANA Cargo
混載	郵船ロジスティクス株式会社
混載	西日本鉄道株式会社
輸出入者	双日ロジスティクス株式会社
輸出入者	伊藤忠商事株式会社
関係団体	東京通関業会
関係団体	一般社団法人日本貿易会
関係省庁	国土交通省港湾局
税関	東京税関
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年1月26日）第1部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船会社	オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社
船会社	株式会社ケイ・エム・ディ・エス
船会社	ワールドトランスポート株式会社
船舶代理店	株式会社日新
船舶代理店・CY・通関	三陸運輸株式会社
保税蔵置場・CY	三井倉庫株式会社
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス東北
CY	鈴江コーポレーション株式会社
CY	三菱倉庫株式会社
CY	N X 仙台塩竈港運株式会社
通関	日本通運株式会社
通関	東邦運輸倉庫株式会社
通関	株式会社丸山運送
通関	丸全昭和運輸株式会社
海貨	株式会社石川組
海貨	富島運輸株式会社
関係団体	横浜通関業会
関係団体	日本海運貨物取扱業会
港湾管理者	横浜市港湾局
港湾管理者	宮城県土木部
関係省庁	国土交通省関東地方整備局
関係省庁	国土交通省関東運輸局
関係省庁	海上保安庁第三管区海上保安本部
関係省庁	海上保安庁第二管区海上保安本部
税関	横浜税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年1月26日）第2部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船会社	ワールドトランスポート株式会社
船舶代理店	株式会社日新
保税蔵置場・CY	三井倉庫株式会社
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス東北
CY	三菱倉庫株式会社
CY・通関	三陸運輸株式会社
通関	トナミ国際物流株式会社
通関	日本通運株式会社
通関	株式会社三協
通関	東邦運輸倉庫株式会社
通関	株式会社丸山運送
通関	丸全昭和運輸株式会社
海貨	株式会社石川組
NVOCC	セイノロジックス株式会社
関係団体	横浜通関業会
港湾管理者	横浜市港湾局
港湾管理者	宮城県土木部
関係省庁	国土交通省関東地方整備局
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年1月27日）第1部参加者 会社名・所属

（順不同）

業種	会社名・所属
船会社	南西海運株式会社
船舶代理店	有限会社沖縄国際海運
船舶代理店	沖縄港運株式会社
保税蔵置場	苫小牧埠頭株式会社
CY	沖縄ポートターミナル株式会社
通関	室蘭海陸通運株式会社
通関	株式会社ニュートレーディングブリッジ
通関	日本通運株式会社
通関	株式会社栗林商会
通関	北海運輸株式会社
通関	沖縄NXエアカーゴサービス株式会社
通関	大成通関株式会社
通関	沖縄荷役サービス株式会社
通関	沖縄空輸株式会社
通関	沖縄第一倉庫株式会社
航空会社・通関	株式会社ANA Cargo
関係団体	日本関税協会函館支部
関係団体	函館通関業会
関係団体	函館税関保税会苫小牧地区保税会
関係団体	函館税関保税会
港湾管理者	苫小牧港管理組合
税関	函館税関
税関	沖縄地区税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年1月27日）第2部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
保税蔵置場	苫小牧埠頭株式会社
通関	日本通運株式会社
通関	株式会社栗林商会
通関	北海運輸株式会社
通関	海邦通関株式会社
関係団体	函館税関保税会
関係団体	日本関税協会沖縄支部
税関	函館税関
税関	沖縄地区税関
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課

2021年度NACCS協議会（2022年2月3日）第1部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店・保税蔵置場・海貨	株式会社天野回漕店
船舶代理店	鈴与株式会社
船舶代理店	清水ユナイテッドエージェンシー株式会社
保税蔵置場	伊勢湾倉庫株式会社
保税蔵置場	東海協和株式会社
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海
保税蔵置場	名港海運株式会社
保税蔵置場	三井倉庫エクスプレス株式会社
保税蔵置場	伊勢湾海運株式会社
CY	株式会社フジトランスコーポレーション
CY	旭運輸株式会社
CY	名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社
通関	三協株式会社
通関	名港海運株式会社
通関	旭運輸株式会社
通関	日本トランスシティ株式会社
通関	ナゴヤ SHIPPING 株式会社
通関	株式会社サンシン.
通関	株式会社上組
通関	株式会社近鉄エクスプレス
通関	鈴与株式会社
通関	鈴与通関株式会社
通関	柏栄トランス株式会社
通関	清和海運株式会社
海貨	中京海運株式会社
海貨	愛知海運株式会社
航空会社	ANA中部空港株式会社
航空会社	株式会社ドリームスカイ
航空会社	日本航空株式会社
航空会社	キャセイバシフィックエアウエイズリミテッド
代理店	名鉄観光サービス株式会社
関係団体	名古屋通関業会
関係団体	名古屋税関保稅会
関係団体	名古屋通関業会清水支部
関係団体	清水海運貨物取扱同業会
港湾管理者	名古屋港管理組合
港湾管理者	静岡県清水港管理局
関係省庁	中部運輸局
税関	名古屋税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部東海事務所

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店・保税蔵置場・海貨	株式会社天野回漕店
船舶代理店	鈴与株式会社
船舶代理店	清水ユナイテッドエージェンシー株式会社
保税蔵置場	伊勢湾倉庫株式会社
保税蔵置場	東海協和株式会社
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海
保税蔵置場	名港海運株式会社
保税蔵置場	三井倉庫エクスプレス株式会社
保税蔵置場	伊勢湾海運株式会社
CY	株式会社フジトランスコーポレーション
CY	旭運輸株式会社
CY	名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社
通関	三協株式会社
通関	名港海運株式会社
通関	旭運輸株式会社
通関	日本トランスシティ株式会社
通関	ナゴヤ SHIPPING 株式会社
通関	株式会社サンシン
通関	株式会社上組
通関	中京海運株式会社
通関	愛知海運株式会社
通関	株式会社近鉄エクスプレス
通関	鈴与株式会社
通関	鈴与通関株式会社
通関	柏栄トランス株式会社
通関	清和海運株式会社
航空会社	ANA中部空港株式会社
航空会社	株式会社ドリームスカイ
航空会社	日本航空株式会社
航空会社	キャセイパシフィックエアウエイズリミテッド
代理店	名鉄観光サービス株式会社
関係団体	名古屋通関業会
関係団体	名古屋税関保稅会
関係団体	名古屋通関業会清水支部
関係団体	清水海運貨物取扱同業会
港湾管理者	名古屋港管理組合
港湾管理者	静岡県清水港管理局
関係省庁	中部運輸局
税関	名古屋税関
当社参加者	カスタマーサポート部東海事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月9日）第1部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店・CY・海貨	門司港運株式会社
船舶代理店	極東海運株式会社
保税蔵置場・CY・通関	山九株式会社
保税蔵置場	下関海陸運送株式会社
保税蔵置場	三井倉庫九州株式会社
保税蔵置場	福岡エアーカーゴターミナル株式会社
CY・混載・通関・代理店	日本通運株式会社
CY	三菱倉庫株式会社
通関	門菱港運株式会社
通関	関光汽船株式会社
通関	住友倉庫九州株式会社
通関	長崎倉庫株式会社
通関	株式会社共進組
通関	東海運株式会社
海貨	グリーン SHIPPING 株式会社
航空会社	株式会社JALカーゴサービス九州
航空会社	ANA福岡空港株式会社
航空会社	キャセイパシフィック航空
混載・通関・代理店	株式会社ジェネック
混載・通関・代理店	サンキュウ エア ロジスティクス株式会社
混載・通関・代理店	西日本鉄道株式会社
混載・通関・代理店	郵船ロジスティクス九州株式会社
機用品	双日ロイヤルインフライトケイタリング株式会社
関係団体	日本関税協会門司支部
港湾管理者	福岡市港湾空港局
港湾管理者	北九州市港湾空港局
関係省庁	国土交通省九州地方整備局
関係省庁	九州運輸局
関係省庁	福岡出入国在留管理局
税関	門司税関
税関	長崎税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部九州事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月9日）第2部参加者 会社名・所属

（順不同）

業種	会社名・所属
船舶代理店・CY・海貨	門司港運株式会社
船舶代理店	極東海運株式会社
CY・混載・通関・代理店	日本通運株式会社
CY	三菱倉庫株式会社
CY・通関	山九株式会社
保税蔵置場	山九株式会社
保税蔵置場	下関海陸運送株式会社
通関	門菱港運株式会社
通関	株式会社共進組
海貨	グリーン SHIPPING 株式会社
航空会社	ANA福岡空港株式会社
混載・通関・代理店	株式会社ジェネック
混載・通関・代理店	サンキュウ エア ロジスティクス株式会社
混載・通関・代理店	郵船ロジスティクス九州株式会社
港湾管理者	福岡市港湾空港局
港湾管理者	北九州市港湾空港局
関係省庁	国土交通省九州地方整備局
当社参加者	カスタマーサポート部九州事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月16日）第1部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店・CY	株式会社辰巳商会
船舶代理店	島本海運株式会社
船舶代理店・通関	株式会社ヒロクラ
CY・保税蔵置場	三菱倉庫株式会社
CY	日東物流株式会社
CY	株式会社ユニエツクスNCT
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス関西
保税蔵置場	株式会社ANA Cargo
保税蔵置場	株式会社シーゲートコーポレーション
保税蔵置場	広島国際空港株式会社
通関	森実運輸株式会社
海貨	松菱運輸株式会社
海貨	大洋運輸株式会社
NVOCC	内外トランスライン株式会社
航空会社	株式会社大韓航空
航空会社	日航関西エアカーゴ・システム株式会社
混載・通関・代理店	郵船ロジック株式会社
混載・通関・代理店	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
混載・通関・代理店	日本通運株式会社
混載・通関・代理店	マツダロジスティクス株式会社
港湾管理者	大阪港湾局
港湾管理者	神戸市港湾局
港湾管理者	広島県土木建築局
港湾管理者	広島県東部建設事務所
関係省庁	近畿地方整備局
関係省庁	大阪出入国在留管理局関西空港支局
関係省庁	関西空港検疫所
関係省庁	第五管区海上保安本部交通部航行安全課
関係省庁	中国地方整備局
税関	大阪税関
税関	神戸税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部関西事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月16日）第2部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店・CY	株式会社辰巳商会
船舶代理店	島本海運株式会社
船舶代理店・通関	株式会社ヒロクラ
CY	日東物流株式会社
CY	株式会社ユニエツクスNCT
保税蔵置場	株式会社ニチレイ・ロジスティクス関西
保税蔵置場	株式会社シーゲートコーポレーション
保税蔵置場	広島国際空港株式会社
通関	森実運輸株式会社
海貨	松菱運輸株式会社
海貨	大洋運輸株式会社
航空会社	日航関西エアカーゴ・システム株式会社
混載・通関・代理店	日本通運株式会社
混載・通関・代理店	マツダロジスティクス株式会社
港湾管理者	大阪港湾局
港湾管理者	広島県土木建築局
港湾管理者	広島県土木建築局
港湾管理者	広島県東部建設事務所
関係省庁	近畿地方整備局
関係省庁	第五管区海上保安本部
関係省庁	中国地方整備局
税関	神戸税関
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課
当社参加者	カスタマーサポート部関西事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月17日）第1部参加者 会社名・所属

(順不同)

業種	会社名・所属
船舶代理店	日東物流株式会社
保税蔵置場	日航関西エアカーゴ・システム株式会社
CY	マツダロジスティクス株式会社
通関	近畿通関株式会社
通関	住和港運株式会社
通関	松菱運輸株式会社
通関	日本通運株式会社
通関	株式会社金沢港運
通関	株式会社後藤回漕店
通関	澁澤倉庫株式会社
通関	日本包装運輸株式会社
通関	内外フォーディング株式会社
通関	NX境港海陸株式会社
通関	中谷興運株式会社
通関	徳島港湾荷役株式会社
通関	高松商運株式会社
通関	芙蓉海運株式会社
通関	入交海運株式会社
海貨	株式会社大森廻漕店
NVOCC	トレーディア株式会社
航空会社	CKTS株式会社
混載・通関・代理店	西日本鉄道株式会社
混載・通関・代理店	株式会社近鉄エクスプレス
混載・通関・代理店	株式会社阪急阪神エクスプレス
機用品	株式会社エイエイスケータリング
関係団体	大阪通関業会
関係団体	神戸通関業会
関係団体	神戸地区保税会
関係省庁	神戸運輸監理部
関係省庁	中国運輸局
税関	大阪税関
税関	神戸税関
当社参加者	経理部経理第1課
当社参加者	システム企画部企画課
当社参加者	システム運用部運用企画課
当社参加者	カスタマーサポート部関西事務所

2021年度NACCS協議会（2022年2月17日）第2部参加者 会社名・所属

（順不同）

業種	会社名・所属
保税蔵置場	山九株式会社
保税蔵置場	日航関西エアカーゴ・システム株式会社
CY	マツダロジスティクス株式会社
通関	近畿通関株式会社
通関	住和港運株式会社
通関	株式会社金沢港運
通関	株式会社後藤回漕店
通関	滋澤倉庫株式会社
通関	日本包装運輸株式会社
通関	内外フォーディング株式会社
通関	中谷興運株式会社
通関	日本通運株式会社
通関	徳島港湾荷役株式会社
通関	高松商運株式会社
通関	芙蓉海運株式会社
通関	入交海運株式会社
海貨	株式会社大森廻漕店
NVOCC	トレーディア株式会社
混載・通関・代理店	西日本鉄道株式会社
混載・通関・代理店	株式会社阪急阪神エクスプレス
関係団体	神戸通関業会
関係団体	神戸地区保税会
関係省庁	神戸運輸監理部
税関	神戸税関
当社参加者	カスタマーサポート部サポート課
当社参加者	カスタマーサポート部関西事務所